

新入社員によるボランティア活動



新入社員導入教育／ボランティア活動の一環として、昨年に続き、「びわこ学園障害者支援センター」にて奉仕活動を行いました。

作業前に、びわこ学園についての説明を聞き、学園について理解した上で除草活動に取り組みました。また、除草活動を通じて、新入社員同士や先輩社員ともコミュニケーションをとることができ、貴重な時間を過ごすことができました。今後は、新入社員だけでなく、従業員やその家族などボランティアの輪を広げていければと考えています。

滋賀県立瀬田工業高等学校3年生進路学習会で講演

滋賀県立瀬田工業高等学校で開催された3年生進路学習会にて、瀬田工業高校卒業生で滋賀・石川施設事業部の山根隆世が進路決定を控えた3年生(262人)に対し、自身が就職に向けて行った準備や、高校時代にやっておいて良かったと思うこと、企業が求める高校生像について、社会人3年生としての立場で後輩たちへアドバイスとエールを送りました。この学習会には山根以外にも卒業生が4人参加し、職場内では仕事で関わる人々とのコミュニケーションが大事であることなどの話題が多く紹介されました。この学習会を通じて、改めて日々の「ハウレンソウ(報告・連絡・相談)」の重要性を認識することができました。



また、10月28日～30日には第17回全国障害者スポーツ大会も開催され引き続き熱い声援を送りました。

えひめ国体協賛と大会ボランティアに参加



愛媛事業場では「愛顔(えがお)つなぐえひめ国体」において、地元松前町で開催される競技への協賛品贈呈や大会期間中のボランティア活動など地元国体の成功に向けた取り組みを行ってきました。協賛品の贈呈式では岡本松前町長へ「のぼり旗235セット」と「うちわ2,000本」を贈呈しました。のぼり旗は各競技会場周辺に設置され、うちわは盆踊りなど地域イベントで配布されるなど、大会PRに貢献しました。

9月30日から始まった「愛顔つなぐえひめ国体」には、当社から多くの従業員がボランティアスタッフとして参加しました。なかには2年以上前から準備を手伝い、この日に備えた従業員もいました。実際に競技が始まるとこれまでの苦勞を吹き飛ばしてくれるような好試合の連続で、思わず手を止め試合に魅入ってしまうスタッフもいました。ボランティア活動以外にも各競技の応援や開会式・閉会式に参加し、大いにえひめ国体を満喫しました。



また、10月28日～30日には第17回全国障害者スポーツ大会も開催され引き続き熱い声援を送りました。

第79回国民体育大会に挑む(ボート競技)



7月29日～30日に福井県立久々子湖(くぐこ)漕艇場で行われた全日本中学ボート選手権大会で、津市立瀬田北中学校が男子総優勝<sup>※</sup>(3年振り)を成し遂げました。日本代表経験のある当社社員の富田(滋賀保全事業部)と松田(TPM推進室)は、7年前から地元中学ボート部の技術指導を行っており、2024年に滋賀県で開催予定の「第79回国民体育大会」に向けてジュニア世代の着実な育成強化を進めています。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

※3年前、瀬田北中学校は男女総合優勝、瀬田中学校は女子ダブルスカル優勝



ボート競技：福井康選手 世界選手権 5位入賞



当社社員で東レ滋賀ボート部の福井 康(ふくい やすし)選手がアメリカ・サラソタで行われた2017世界選手権 男子軽量級ワドルプル日本代表として出場し、5位入賞を果たしました!

メダルには一步届きませんでしたが、今大会に派遣された日本代表クルーの中で最高順位となりました。

また、5月に開催された「第70回朝日レガッタ」では、一般男子シングルスカルの部に出場し、見事優勝を果たしました。東レ滋賀ボート部のシングルスカルでの優勝は実に31年振りのことで、国内トップクラスの選手に加え、ニュージーランドやデンマークの代表選手が招待参加する中での快挙となりました。

健康体力づくりサポートイベント開催



従業員の健康体力づくりサポートのため、滋賀県体育協会の方にきていただき健康体力づくりサポートイベントを開催しました。まずは、参加者全員の体成分分析測定を行い、分析結果に基づく説明や身体についての講義をしていただきました。最後に実際に身体を動かしてみ、自分の身体の状態などをチェックしました。日常生活での何気ない行動が身体を歪めていることに気づけたり、身体の動きの左右差改善法などを指導いただき、改めて健康意識向上のきっかけになりました。



子どもたちにスポーツの楽しさを提供



私は、地元の小学校の子どもたちを中心に活動しています。約70人の子どもたちが、サッカー、野球、バレーボール(男女)の競技を通じて、「たくましい体」と「豊かな心」を育てています。団長の仕事は、主に団活動全体の運営であり、直接子どもたちを指導する機会はありませんが、指導者、育成会、地域の方々と一緒に、子どもたちにスポーツの楽しさや喜びを味わってもらおうと、いきいきと動きまわれる環境を提供していくことを第一に考えて活動しています。

プラント事業部 営業部長 まえだ よしあき 前田 義明



口金室の移設・リニューアル



機器事業部機器部では、長年の課題であった作業動線の効率化のため、5月より、これまで別々の工場で作業していた工程の一部を移設・統合する工事を進めてきました。工期が長く生産影響が懸念されるため、設備の停機時間のミニマム化に苦勞しましたが、工事を担当した滋賀保全事業部の尽力で、10月11日に「新口金室スタート式」を執り行うことができました。

作業動線の改善より、作業効率だけでなく安全性も大幅に向上し、また設備更新により省エネの推進にも繋がりました。

今後は、機器事業部のモデル工場とすべく全員一丸となって、安全で快適な職場を目指すとともに、さらなる生産効率化にも取り組んでいきます。

ボーイスカウト指導20年



私は、大阪市旭区にあるカトリック今市教会に本部を置く日本ボーイスカウト大阪連盟なみはや地区大阪第122団で、2016年から団委員長を務めています。私は幼少からの活動ではなく、20代から指導者として現在に至っています。

ボーイスカウトは小学1年生から入団ができ、ビーバースカウト(小1～小2)、カブスカウト(小3～小5)、ボーイスカウト(小6～中3年8月)、ベンチャースカウト(中3年9月～高3)、ローバースカウト(18歳～25歳)、指導者(18歳以上)と各年代別に部門が分かれており、部門ごとに指導・育成を行っています。

私は、ボーイ隊長・カブ隊長を約20年弱勤め、現在は団委員長として団の運営・指導者の育成、また地域では指導者教育部門の一員として活動しています。毎年大阪国際女子マラソン・大阪マラソンの沿道整備警備、選抜高校野球開・閉会式奉仕、NHK杯国際フィギュアスケート競技大会表彰奉仕、区民パレード奉仕などの活動を支援しています。

今後も可能な限り青少年育成に積極的に取り組んでいきます。

プラント事業部 技術1部 こにし けんじ 小西 健二



子どもたちにラグビーの楽しさを指導

私は、子どもラグビー教室「The Ants Rugby Club」でYouth&Boys(小学5・6年、中学生)担当コーチをしています。The Antsでは、子どもがラグビーを始める時、最初はまず競技の楽しさから入ることが大切だと考えています。そこを間違えると、ラグビーに必要な知性が



養われず、試合に勝つためのラグビーになってしまいます。

The Antsのチームスローガンは「R. E. A. L」です。  
[R] Respect…尊敬する  
[E] Enjoy…楽しむ  
[A] Achieve…成長する  
[L] Link Up…結びつく

2019年にはラグビーワールドカップが日本で開催されます。一人でも多くの子どもに「ラグビーをやったよかった」という気持ちになってもらえるように指導していきたいと考えています。

滋賀・石川施設事業部 かわい よしあき 河合 良昭

